

インフォームド・コンセント 実現のために

～患者の語りから考える～

NPO法人健康と病いの語りディペックス・ジャパン
佐藤（佐久間）りか

インフォームドコンセントの実現？

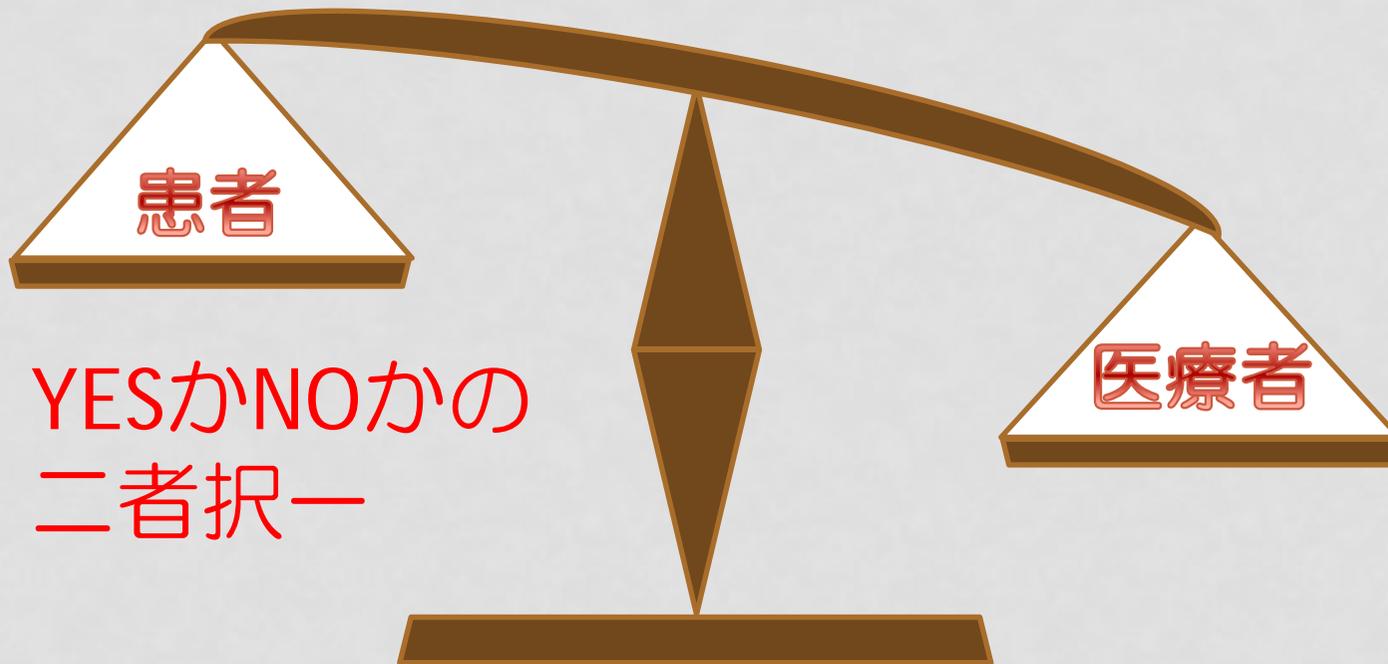
- インフォームドコンセント（IC） → 「やってるよ」「ちゃんと取ってるよ」...は本当の意味でのICではない？
- 「説明と同意」（日本医師会の訳）は正しい訳ではない
→本来の意味は、説明を受けた上で納得して同意（もしくは拒否）することで、説明と同意が並列なのはおかしい
- 主語はあくまでも「患者」～患者が医師の説明に納得して同意する（もしくは納得しないので同意しない）ことなので、医療者が「やった」り、「取った」りするものではない（患者が医師に与えるもの）
→そこでもう少し理想形に近づけるために...

シェアード・デシジョン・メイキング

- Shared Decision Making (SDM)
Shared＝分かちあう、共有する
Decision Making ＝意思決定
- 主に医療的な介入に関わる意思決定の望ましいあり方を説明する概念で、患者と医療者が対等な立場で問題解決に向けて、情報を共有し、意見を交換して、責任を分かち合いながら、結論を導き出すためのプロセスをさす
- 決まった日本語訳はまだない～共有意思決定、協働決定など
- 単に情報を「共有する」だけでなく、決定に伴う精神的な負担（悩み）や責任を「分かち合う」ことが大事

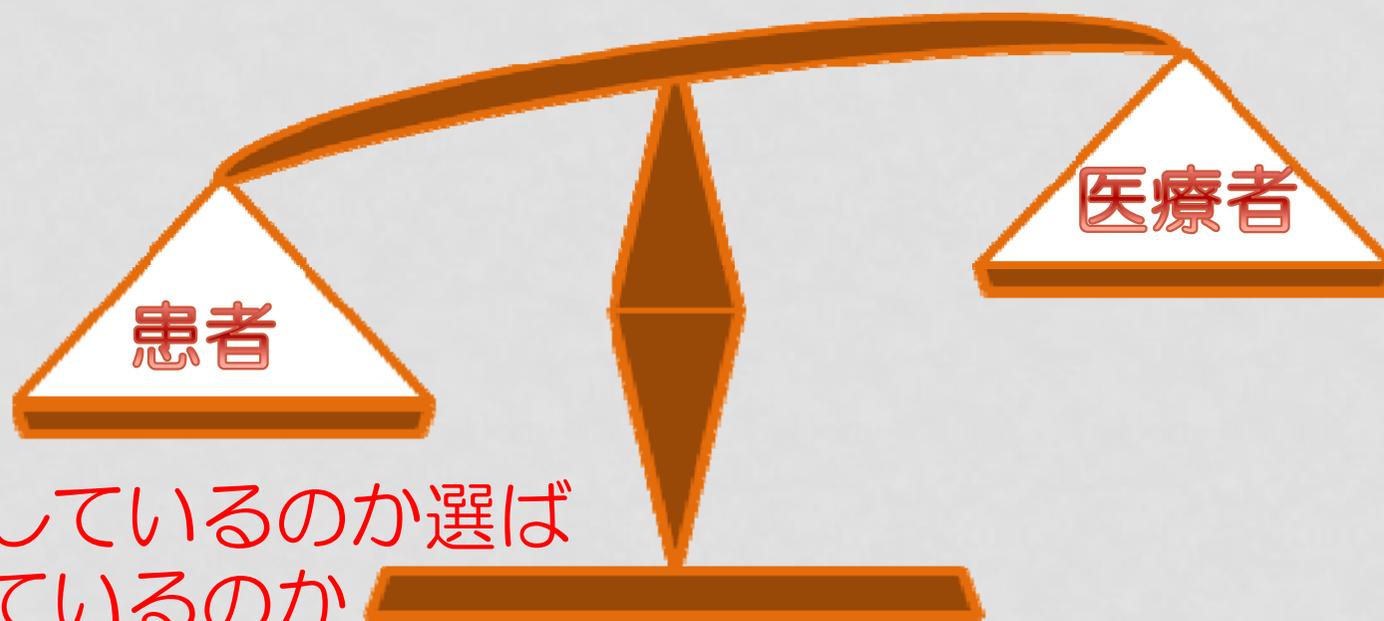
インフォームド・コンセント (説明を受けて同意)

- 医療者が医学的に正確な情報（エビデンスに基づいた情報）を提供して、最善と思われる選択について説明し、患者は納得して同意を与える／もしくは与えない



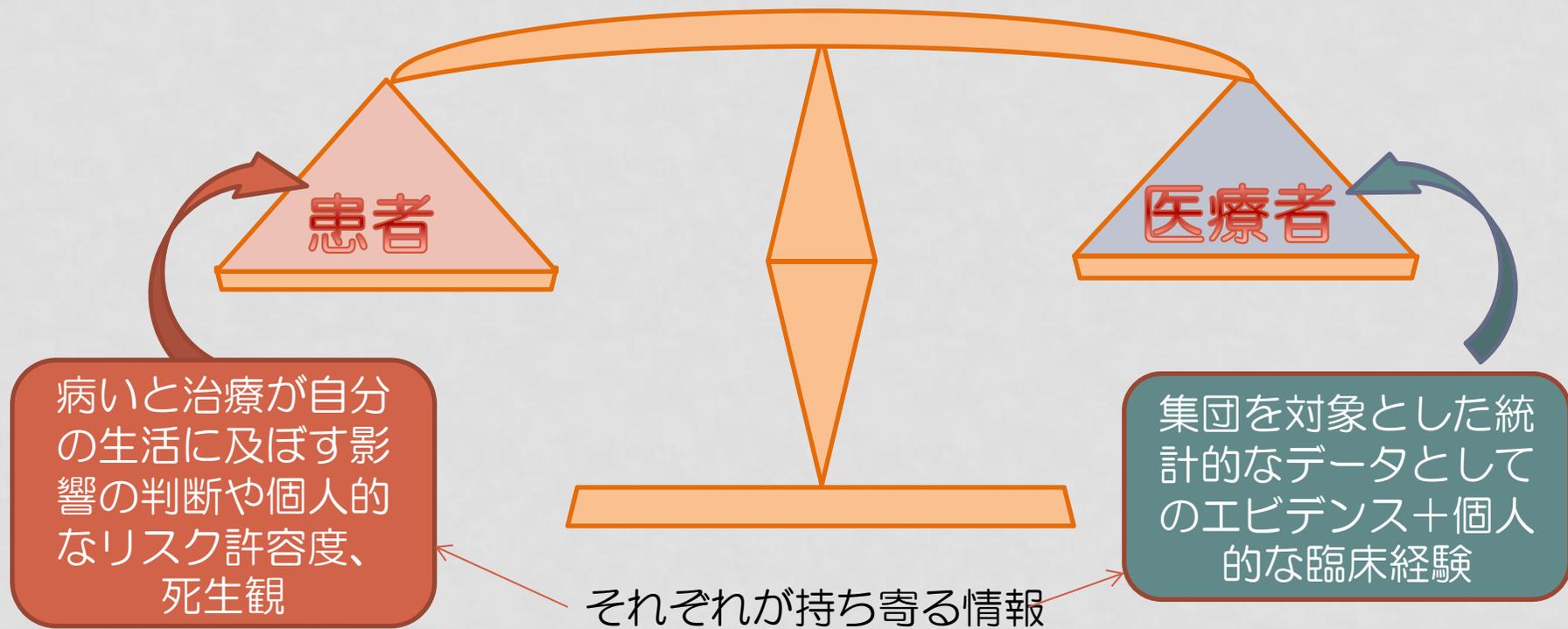
インフォームド・チョイス (説明を受けて選択)

- 医師は医学的に正確な情報（エビデンスに基づいた情報）とともに複数の選択肢を提示し、患者はその中から自分に最適と思われるものを選択する



シェアード・デシジョン・メイキング (情報を共有し一緒に悩んで決める)

- それぞれが情報を提供し、互いに情報を共有して、ともに悩みや責任を分かち合って決定する



この後スライド20まであります

- 乳がんや前立腺がんの患者さんによる7つの語りのクリップを紹介しながら、シェアード・デシジョン・メイキングの重要性を説明する講義スライドです。
- 続きをご覧になりたい方は、ディペックス・ジャパンにご入会下さい。



医師から「どの治療も妥当だから選んでください」と言われて困ってしまった



インフォームド・チョイスとして患者に丸投げ？

診断時62歳/インタビュー時71歳
首都圏在住。PSA検査の値が高く、4年間の経過観察後がんが発見された。高線量率組織内照射、冷凍療法を受けたが、再びPSA値が上がり始めている

あなたの場合は対処法...選択肢は4つあります。このまま何もしない方法が1つ、それから手術で取ってしまうのが1つ、放射線をやるのが1つ、それからホルモン療法をする...この4つありますと。どれをやってもね、あなたの場合は妥当だから、選んでくださいと言われて、正直言って困っちゃったんですね。